

会員数 60名 出席者43名・欠席者16名・免除会員3名
欠 席 者 秋山恒・麻田・後藤・和泉享・倉田・竹中・松山・藤井・眞鍋・森
中野昌・野口・大西和・天野・山内孝・武中-会員

前々回出席率 85.96%(10/18)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫
幹 事 福田 洋子
会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

- ∴ 11月のプログラム
 - 1 (No.1)-地区大会報告
 - 8 (No.2)-クラブフォーラム
 - 15 (No.3)-クラブ協議会G補佐公式訪問
 - 22 (No.4)-会員卓話
 - 29 (No.4)-ガバナー公式訪問

- ∴ 他RC例会変更
坂出東 11/21→11/20合同例会

- ∴ ニコニコBOX;
 - 祝誕生月
福田君 四宮君
 - 祝結婚月
横田君
 - よいことがありました
秋山憲夫君 山内光君
 - 応募13回、遂にパズルdeロータリー
当選しました
夏見君

<ニコニコ会計累積/¥177,623>

- ∴ がんばるBOX;
 - 出席できなくて
竹内君
 - 地区大会報告を終えて
岡田君
 - 初めて地区大会に参加して
岸上君
 - 小学校健診のため早退させて
頂きます。新居浜ではお蕎麦
ごちそうさまでした
塩田君

<がんばる会計累積/¥162,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

新居浜への熱き思い

ロータリークラブが、2020年10月20日で創立100周年を迎えます。この100周年という大きな節目に、100周年記念ゴングを東京RCが製作し、国内34の地区にお贈りしてくれました。この鐘は、ガバナー公式訪問の際に持参し、各クラブの例会で点鐘に使われます。今回の地区大会は、新居浜の市民文化センターで行われました。新居浜市は市制施行80周年を迎え「つむぐ つなぐ 未来へ 人へ」をテーマに魅力あるまちづくりをめざしています。会場には、日本喧嘩祭りでは有名な太鼓台が来ていて、会場前がかきあげをしてくれ盛り上げてくれました。1000年以上の歴史があり、大きさは高さ5m長さ12m重さ3tあります。新居浜の人は太鼓祭りのために1年間過ごすと言っても過言がないくらい熱が入っているそうです。祭り好きにはたまらないようです。そう考えると、地区大会の場所にあえてこの新居浜を選んだのも納得できるような気がしました。この地域をなんとかしようとする熱気があるように思いました。

■幹事報告

- 1、10月27日28日新居浜での地区大会に出席してきました
丸亀ロータリークラブ登録26名でした
会員の親睦も深められたかと思えます
- 2、ロータリーの友11月に掲載
パズルdeロータリー 8月号の当選者に夏見会員が選ばれました
13回目の応募でプレゼントいただきました。おめでとうございます。
- 3、例会の後、定例理事会があります

■理事会報告

- 1、12月、1月のプログラムについて承認いただきました
12月13日 内海新入会員卓話
1月31日 シリーズ箴言 横田龍男会員
- 2、12月20日忘年家族会 場所シェルエメール
- 3、平成31年2月21日の職場例会 高松地方裁判所丸亀支部
見学開始を12:50、例会開始を12:15に変更することを承認

■例会事業;地区大会報告

今回の地区大会には、26名の参加で新居浜に行きました。例会での地区大会報告は、岡田会員、岸上会員、竹内会員、稲田会員、齋賀副会長の順番で報告がありました。

まず、会場は新居浜市民交流センターでした。会場のキャパシティーは約1000人で、会場には全員入ることができず、愛媛県地区のメンバーは別会場の中ホールで参加する形となりました。

(裏へ続く)

地区大会の進行は例年と同じく、会長や来賓のご挨拶があり、また、ローターアクト、インターアクト、米山奨学生、ライラの紹介等が続きました。報告のなかで、ライラについて、とても良い事業をしているという感想もあり、このような事業報告を聴けることは地区大会でしかないのです。ロータリーのことを深く理解する上では、是非地区大会に多数の人が参加してもらいたいと言った報告もありました。ちなみにライラは四国地区と兵庫県地区の共同事業で、ロータリーに入る人より若者を集め、小豆島の余島でキャンプを行います。ロータリーアンがインストラクターとなり、人生や仕事感などを振り替える事業です、参加した若者からは、とても感動した、また参加させてもらったことに感謝ですなど、地区大会で報告を聞くだけでも、事業の良さがわかります。

RI会長代理水野功氏のご挨拶では現状報告がありました。日本のロータリーは世界と比べて、会員のなかで女性会員の比率が低いそうです。我々日本のロータリアンとしては、是非女性会員の獲得に頑張りましょうとおっしゃってました。現在、日本における女性会員の比率は5%代です！東京地区では、女性だけのロータリークラブを作ったりして、現在10%代まで上昇しているそうです。

そして、基調講演は、第2680地区パストガバナーである安平和彦氏の講演でした。ロータリー過去の百年とこれからの百年を鑑みてのお話でした。岸上会員の報告のなかでもありました、過去のロータリー特に戦中、戦前には、いわれのない噂があったり、要はロータリーはフリーメイソンの集団だとか弾圧を受けたことがあるそうです。特に戦時下ではロータリーという名前は変えて火曜倶楽部とか木曜倶楽部などの名前にして、乗り切った過去があります。そのような苦労を重ねながら、現在のロータリークラブがあることを覚えてほしいと言っていました。このような先輩ロータリアンが残してくれたロータリークラブをこれからの百年を考えてどう行動するかの提言がありました。まず、安平氏より、最近のRIの運営についての説明がありました。2016年のRI理事会において、運営に関して柔軟性を持たせる採決がなされました。この採決は、例会は好きなときにすれば良いというもので、また出席の義務もなくて良いというものでした。極端に解釈すると好きなときに例会をして、出席したいメンバーが出席するだけでよいということになります。さすがに、修正動議が出て、月に2回以上は例会はしなければいけないとなりました。また、会員の資格に柔軟性を持たせる採決もあり、同じ業種の人でも、最大5人までは、ロータリーに入ることが出来るとなりました。この事に、元RI会長ビジャイ・ラクタル氏が痛烈に批判をしました。その時の会長は、柔軟性を作ることで、会員の減少に歯止めをかけたかったのですが、歯止めはかからず、結局元RI会長ラビンソン氏は緩くすることではなく、ロータリーの基本方針五大奉仕を全うすることが一番大切なことだと提案したそうです。講師の安平氏も、この考えに賛成で、ロータリーは職業奉仕を始め五大奉仕に邁進すべきだとおっしゃっていました。

柔軟性を持たせることで、ロータリーに入ってくれませんかではなく、五大奉仕を実践することで、他の経済団体とは、別のものになり、ロータリーに入りたい、入らしてほしいと思う団体にならなければいけないと、今後の百年に向けての提言がありました。今回報告したメンバーも、この事には共感できる感想、報告でした。

最期に、齋賀副会長から、通常、お話を聞いたら自分の興味のある講演しか聞かないけれど、逆に地区大会という範疇のなかでロータリーの話聴けることは貴重な体験であり、積極的に地区大会に参加してほしいと感想がありました。

また、他のメンバーからは、お向かいのお蕎麦屋さんが絶品だったという感想でしめさせていただきますと思います。